



平成29年8月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年7月3日

上場会社名 ケイティケイ株式会社
 コード番号 3035 URL <http://www.ktk.gr.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 土岐 勝司

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 青山 敏久

TEL 052-931-1881

四半期報告書提出予定日 平成29年7月3日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年8月期第3四半期の連結業績(平成28年8月21日～平成29年5月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年8月期第3四半期	12,606	2.9	242	23.7	279	32.1	228	59.6
28年8月期第3四半期	12,988	1.4	196		211	620.8	143	

(注) 包括利益 29年8月期第3四半期 270百万円 (99.4%) 28年8月期第3四半期 135百万円 (214.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年8月期第3四半期	39.91	
28年8月期第3四半期	25.01	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年8月期第3四半期	8,932	2,831	31.7
28年8月期	8,198	2,590	31.6

(参考) 自己資本 29年8月期第3四半期 2,831百万円 28年8月期 2,590百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年8月期		0.00		5.00	5.00
29年8月期		0.00			
29年8月期(予想)				5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年8月期の連結業績予想(平成28年8月21日～平成29年8月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,557	3.7	150	21.6	180	16.0	120	23.6	20.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年8月期3Q	5,725,000 株	28年8月期	5,725,000 株
期末自己株式数	29年8月期3Q	2,861 株	28年8月期	2,861 株
期中平均株式数(四半期累計)	29年8月期3Q	5,722,139 株	28年8月期3Q	5,722,139 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在における入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については四半期決算短信(添付資料)2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成28年8月21日～平成29年5月20日)におけるわが国経済は、政府による経済政策を背景に企業収益や雇用・所得環境に改善傾向が見られるなど、緩やかな回復基調が続いております。

このような環境のなか、当社グループは更なる売上と利益の拡大、企業価値の最大化を目指す「ktkアドバンスドプラン」を策定し、前連結会計年度と同様に最速実行をしております。この「ktkアドバンスドプラン」は、“高度”“進歩”を意味する『Advanced』の言葉の通り、より高度な戦略となっており、営業、生産、管理・経営、調達・物流の各部門に「売上拡大と新たな事業の確立」「総原価削減、生産性向上、製品品質改善」「企業価値と社員満足度の更なる向上」「更なる物流経費削減、調達コストダウン、効率化、調達発の売上貢献」をアクションプランに掲げ、全社が一丸となって邁進しております。

また、平成28年8月21日付で、当社が販売するリサイクル商品に係る再生業務を担っておりました連結子会社の株式会社アイオーテクノを吸収合併いたしました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間については、「ktkアドバンスドプラン」の最速実行により、当社においては売上拡大が見受けられるものの、平成28年3月22日付で新設分割し、同日付で新設会社の株式の一部を譲渡したソリューション事業を連結の範囲から除外したことや、連結子会社の株式会社青雲クラウンにおいて、顧客の調達方針の変更による納入価格の引き下げ、契約の予期せぬ終了等があったことにより、売上高は12,606百万円(前年同四半期比2.9%減)となりました。営業利益につきましては、全営業社員に最新型のタブレット型PCの貸与を行なう等の「モバイルワーク制度」の導入に努めると共に、部品・緩衝材のリユース化や原材料費の見直しによる製造コストの削減、常備在庫品の見直しによる調達コストの削減など、様々な施策を強力に推進したことにより大幅に改善し、242百万円(前年同四半期比23.7%増)となりました。

経常利益は、営業利益の増益に加え、当社資産の賃貸による家賃収入により279百万円(前年同四半期比32.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は228百万円(前年同四半期比59.6%増)となりました。

なお、連結子会社である株式会社青雲クラウンの業績は、多くの顧客の年度末及び年度始めにあたる当社第3四半期連結会計期間以降に売上高が多く計上されるという季節的変動があります。

また、第1四半期連結累計期間より、当社グループの事業は単一セグメントに変更したため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ733百万円増加し、8,932百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ649百万円増加し、6,134百万円となりました。これは、主に受取手形及び売掛金が732百万円、商品及び製品が68百万円増加し、現金及び預金が214百万円減少したこと等によります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ84百万円増加し、2,798百万円となりました。これは、有形固定資産が29百万円、投資その他の資産が90百万円増加し、無形固定資産が35百万円減少したことによります。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ563百万円増加し、5,353百万円となりました。これは、主に支払手形及び買掛金が400百万円、短期借入金が131百万円増加したこと等によります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ71百万円減少し、746百万円となりました。これは、主に長期借入金が103百万円減少したこと等によります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ241百万円増加し、2,831百万円となりました。これは、主に利益剰余金が199百万円増加したこと等によります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年8月期の業績予想につきましては、平成29年3月29日に公表いたしました連結業績予想より変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年8月20日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年5月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,510,499	2,295,901
受取手形及び売掛金	2,429,526	3,161,689
商品及び製品	408,905	477,831
仕掛品	464	648
原材料及び貯蔵品	47,689	52,120
その他	88,089	146,785
貸倒引当金	△829	△947
流動資産合計	5,484,346	6,134,029
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,097,416	1,097,416
その他(純額)	416,844	446,223
有形固定資産合計	1,514,260	1,543,639
無形固定資産		
のれん	91,140	86,868
その他	96,567	65,529
無形固定資産合計	187,707	152,397
投資その他の資産		
その他	1,027,892	1,118,558
貸倒引当金	△15,464	△16,106
投資その他の資産合計	1,012,428	1,102,452
固定資産合計	2,714,397	2,798,489
資産合計	8,198,743	8,932,519

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年8月20日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年5月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,977,211	3,377,912
短期借入金	1,341,898	1,473,540
未払法人税等	34,266	46,855
賞与引当金	84,035	77,159
役員賞与引当金	7,500	-
その他	345,435	378,231
流動負債合計	4,790,346	5,353,699
固定負債		
長期借入金	404,727	301,463
役員退職慰労引当金	85,407	93,545
退職給付に係る負債	128,697	114,136
その他	199,445	237,804
固定負債合計	818,278	746,948
負債合計	5,608,624	6,100,647
純資産の部		
株主資本		
資本金	294,675	294,675
資本剰余金	663,325	663,325
利益剰余金	1,551,714	1,751,519
自己株式	△1,281	△1,281
株主資本合計	2,508,433	2,708,237
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	81,685	123,633
その他の包括利益累計額合計	81,685	123,633
純資産合計	2,590,118	2,831,871
負債純資産合計	8,198,743	8,932,519

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年8月21日 至平成28年5月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年8月21日 至平成29年5月20日)
売上高	12,988,463	12,606,370
売上原価	10,374,192	10,042,674
売上総利益	2,614,270	2,563,695
販売費及び一般管理費	2,417,975	2,320,889
営業利益	196,295	242,806
営業外収益		
受取利息	601	488
受取配当金	7,417	7,965
仕入割引	33,969	37,568
受取家賃	28,078	45,460
その他	8,320	6,871
営業外収益合計	78,387	98,354
営業外費用		
支払利息	12,710	9,193
売上割引	32,714	36,567
その他	17,597	15,747
営業外費用合計	63,022	61,508
経常利益	211,660	279,651
特別利益		
保険解約益	8,418	3,863
子会社株式売却益	3,354	-
特別利益合計	11,772	3,863
特別損失		
固定資産売却損	1,502	-
特別損失合計	1,502	-
税金等調整前四半期純利益	221,930	283,514
法人税、住民税及び事業税	38,618	59,542
法人税等調整額	40,158	△4,442
法人税等合計	78,777	55,099
四半期純利益	143,152	228,414
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	143,152	228,414

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年8月21日 至平成28年5月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年8月21日 至平成29年5月20日)
四半期純利益	143,152	228,414
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7,572	41,948
その他の包括利益合計	△7,572	41,948
四半期包括利益	135,580	270,363
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	135,580	270,363
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

《簡便的な会計処理》

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率を使用して貸倒見積高を算定しております。

②たな卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末のたな卸高の算出に関しては、実地たな卸を省略し、前連結会計期間末の実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

また、たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

③固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計期間に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

④経過勘定項目の算定方法

合理的な算定方法による概算額で計上する方法によっております。

⑤法人税並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断については、前連結会計期間末以降に経営環境等に著しい変化が生じておらず、一時差異等の発生状況に大幅な変動がないと認められるため、前連結会計期間において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用しております。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成27年8月21日 至 平成28年5月20日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注1)
	サプライ事業	ソリューション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	12,874,710	113,753	12,988,463	—	12,988,463
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	247	247	△247	—
計	12,874,710	114,000	12,988,710	△247	12,988,463
セグメント利益	209,130	2,530	211,660	—	211,660

(注) 1 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を図っております。

2 ソリューション事業につきましては、平成28年3月22日付で連結財務諸表提出会社のソリューション事業部を新設分割し、同日付で新設会社である株式会社ケイティケイソリューションズの株式の一部を譲渡しております。これに伴い、株式会社ケイティケイソリューションズからなるソリューション事業を連結の範囲から除外し、売上高、セグメント利益の金額は売却日までの実績を記載しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成28年8月21日 至 平成29年5月20日)

当社グループは「サプライ事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(報告セグメントの変更等に関する事項)

当社グループの報告セグメントは、前連結会計年度において、ソリューション事業を営む株式会社ケイティケイソリューションズの株式の一部を譲渡したことによりサプライ事業の単一セグメントとなったため、セグメント情報の記載を省略しております。